



# 補習校便り



2025年度第5号

2025年12月20日発行

チューリッヒ日本人学校補習校

<https://www.jszurich.ch>

<https://www.instagram.com/jszurich.hoshuko>



校長 長森 千枝

チューリッヒ補習校では、幼児から高校生年齢まで一貫して学習が継続できます。子どもが国語科の基礎的な力や学び方を身につけることで、学習が継続しやすくなります。漢字テストをすると、授業で習った漢字の読み書きができたり、できなかったりすることが確認できます。そのときは、できても、使わないと忘れてしまうため、繰り返し、読んだり書いたりして使い慣れることで、漢字を覚えていきます。小学部以上は、4月の漢字総復習試験に向けて、3学期に漢字の習熟に取り組んでいきます。さらに、発達段階や各自の力に応じて、子どもが自主的に日本語で読んだり、書いたりすることを楽しめるようになることで、負担を感じずに漢字力を身につけていけます。字数が少なくても、振り仮名付きでもよいので、楽しく、慣れ親しむことが大事です。

学習には、繰り返しが必要で、特に語学学習には、単語を覚えることが課されます。日本を離れて、子どもが日本語の読み書きをするとき、読めない漢字や意味がわからない漢字があります。漢字や熟語は、日本語の語彙でもあるため、読み書きしながら、できるようになるまで、繰り返しが必要です。言い方を変えると、できるようになるまで、できないことを繰り返すということでもあります。私たちは、成果をすぐに求めがちで、すぐにできるようにならないことに、いら立ちを覚えることもあります。練習しているうちに自転車に乗れたように、意識して、目標に向かって経験を積み重ねることで、いつかできるようになったり、目標に近づいたりします。

とはいえ、子どもには現地校学習をする時間の他に、自分の時間も欠かせないため、補習校の宿題や漢字テスト勉強をする時間配分が必要です。担任が漢字を覚える学び方を指導し、子どもは、自分なりの漢字の覚え方や宿題のしかたを身につけています。まだ子どもに合った方法を見つけられていなければ、伴走者となり、家庭で励まして支援をしていただき、必要に応じて、担任あるいは学校にご相談ください。また、学ぶ時間を確保し、土曜日に図書室で勉強している児童生徒がいます。仲間といっしょなら、宿題をする気力が上がるかもしれません。土曜日午後、学習室も活用してください。

どの学年においても、土曜日の限られた2時間で、子どもたちは学習目標に向かい、書いたり、話したり、発表したりする方法を学び、活動しています。「家庭で、子どもが補習校のことを語らないため、どんなことを学習しているのかわからない。」と聞かせていただくことがあります。整理して、自分の言葉で説明する言葉をもち合わせていないのかもしれませんが。そこで、学習したことをさらに習熟させるために、家庭において、補習校でした活動について興味を示し、お子さんに尋ねて日本語や日本語以外の家族の言語で説明をさせるように声をかけてください。

本年も、子どもたちが楽しく学べるようご支援をいただき、ありがとうございました。健康で楽しい冬休みをお過ごしになられ、よいお年をお迎えください。



# お 願 い

## 懇親会 家庭室利用

低学年を中心に家庭室（１１１教室）を利用して、横のつながりを密にし、親子で交流を深められています。家庭室利用をご希望の際は、土曜日にお問い合わせいただき、事前に校舎使用願いをご提出ください。

## お 知 ら せ

### 図書室 冬休みの利用について

開室日：12月\*\*日・\*\*日・\*\*日

利用時間：9：00 ～ 14：00

利用について：貸出・返却のみ

貸し出し冊数：5冊まで（常時）

★新刊図書：学期中、長期休暇中ともに1冊まで

注意事項：

①返却は、もとの場所に戻す

戻す場所がわからない場合は、返却コーナーに置く

②来校・下校の際は、必ず職員室に声をかける



### 図書室の利用について

#### 図書室前の靴並べ ご協力ありがとうございます

特に11時には、児童生徒の入れ替わりがあるため、多くの利用者が図書室前に靴を並べます。

次の人が靴を踏まずに入れるように、入り口手前脇に並べたり、指導してくださったりしている保護者の方々、ありがとうございます。



### 補習校対応について

補習校は、土曜日のみの学校です。

週日にいただいた質問などへの対応、返答に時間をいただきます。特に学校休暇中は、返答までに十分時間をいただきます。

ご理解のほどお願いいたします。

## 3 学期行事予定

2026年

\*\*月\*\*日 3学期始業日

\*\*月\*\*日 公開授業日

\*\*月\*\*日 スポーツ休み

\*\*月\*\*日 3学期終業日・修了式・卒業式  
後期連絡表配付

### 証明書発行

休暇中は発行いたしておりません。

必要な場合は、十分余裕をもって早めに担任にお申込みください。

ご希望の期日に添えない場合もあります。



### 皆勤賞



今年も実施します

お子様が皆勤賞の対象となるかが不明な場合は、担任にお尋ねください。

卒業式の日も授業もあり、特別時間帯になります。詳しくは3月に「お知らせ」を配信します。



事務ネコ

# 校内漢字総復習試験

## 校内漢字総復習試験が来年始業日に実施されます

小学部の低学年の頃は、案外楽しかった漢字学習も学年が上がり、語彙が増えるにつれ困難になってきます。ほとんどの漢字は、小3、4年までに習った漢字の部首や部分の組み合わせでできています。基礎をしっかりと身につけることが大事です。

そこで、本校では、国語学習の基礎である漢字を定着させるため、1996年に「校内漢字検定試験」を発足させました。以後、毎年児童生徒の学習状況を見ながら改訂を加え、現在の「漢字総復習試験」という形で、毎年4月の始業日に実施しています。



## 試験の範囲

出題は、小学部では、基本的に教科書巻末の新出漢字の語句とします。新出漢字の読み方、書き方がわかりやすい一覧表になっていますので、これを勉強することによって今年度の漢字を身につけることができます。新出漢字の他に、筆順、画数、部首、熟語などについては、各担任が補充のプリントを配布することもあります。また、漢字ドリルから出題される場合もあります。

中学部は教科書と「あかねこ中学漢字スキル」からの出題です。詳しくは、担任が授業で出題範囲や勉強の仕方を説明します。3学期は今年度の総復習と来年度の準備期間です。

この試験に向けて漢字に力を入れますので、保護者の皆様のご協力をよろしく願います。



放課後、冬休み、何しよう？



文部科学省

# きみの好き応援サイト

# たのしくまなび隊

タブレット等端末から、無償で利用できるコンテンツを紹介するポータルサイトです。

現在、楽しく学べるコンテンツが**300件以上**！  
子供の好きや興味をぜひ、一緒に見つけてください。

**目指す役割**

タブレット等端末を用いた、新しい学びのあり方を提供します

いつでもどこでも学べる環境づくりの一助となります

緊急時の学習支援として機能します

楽しく学べるコンテンツがいっぱい

運動系コンテンツ

プログラミングコンテンツ

英語系コンテンツ

理科・科学系コンテンツ

宇宙系コンテンツ

📺 動画コンテンツも随時募集中！

ぜひ、子供たちの学びにご活用ください！

<https://tanoohikumanebitsi.mext.go.jp/>



サイトはこちら



**お子さまに嬉しい！**

あれ！これってしっかり読べたらこんなことだったのか！明日、学校で友達にも教えてあげよう！

学校や塾とはまた違った角度でいろいろ知れる！

学校が面白いのはこのサイトにいるのを見て学ぼう！

**保護者に嬉しい！**

子供が興味ありそうな情報がいっぱい！このサイトを一緒に見ながら学ぶ面白さを知らせよう。

最近、動画を見る時間が減っているのが気になるわ。このサイトの動画なら面白いし、ためになる。


「好き」から始まる学びの冒険

たのしくまなび隊は、自分の好きをきっかけにして広がっていく学びを経験してほしいというコンセプトで立ち上げたポータルサイトです。好き！だから知りたい！という気持ちを大切に、楽しく学び続けてほしいという願いを込めて、「きみの好き」応援サイト たのしくまなび隊」と名付けました。

たのしくまなび隊の前身は、2020年3月コロナ禍での休校期間中に、文部科学省が、子供たちの学びを止めないという強い思いのもと開設した「子供の学び応援サイト」です。

たのしくまなび隊では、その思いを受け継ぎながら、タブレット等端末を用いた新しい学びのあり方を提供できるよう、これから機能と内容の充実を図っていきます。

まだ走り出したばかりのたのしくまなび隊ですが、今後、大きく成長していけるよう、関心を寄せていただくと幸いです。



文部科学省

2024年9月  
文部科学省総合政策局生涯学習推進課  
生涯学習推進課

# たのしくまなび隊

## 公式LINE

毎月1回、たのしくまなび隊の中から、おすすめコンテンツをご紹介します！



問合せ先

文部科学省総合政策局生涯学習推進課 リカレント教育・民権教育課室  
メール: min-edu@mext.go.jp / 電話: 03-5253-4111 (内線 2092)

# 2026年度行事予定

前 期		後 期	
2026年		**月**日	秋休み
**月**日	入学式・新学期始業日	**月**日	新入生学校説明会
	漢字総復習試験（小2以上）	**月**日	高等部・国際部高学年説明会
**月**日	春休み	**月**日	2学期終業日
**月**日	授業参観・懇談会	2027年	
**月**日	運動会	**月**日	3学期始業日
**月**日	漢字検定試験（希望者のみ）	**月**日	公開授業日
**月**日	1学期終業日	**月**日	スポーツ休み
**月**日	2学期始業日	**月**日	3学期終業日・修了式・卒業式
**月**日	授業参観・懇談会		後期連絡表配付
**月**日	運営委員会主催まつり		
**月**日	前期連絡表配付		

## お 礼

### ご寄贈を賜りました

まつり  
「手作りパン・レモンソーダのお店」様  
厚く感謝申し上げますとともに、  
有効に使わせていただきます。

## 図書ボランティア

### 図書カード整理

9月20日、27日（土）、図書ボランティアの方々が、図書カードの返却日 記入漏れに印をつけてくださいました。貴重な図書を皆が気持ちよく利用するための大切な作業です。ご協力をありがとうございました。

## 報 告

### 第4・5回 運営委員会

10月21日（火）

- ・全日校、補習校の次年度行事予定が承認されました。
- ・学校授業料改定が決定されました。
- ・学校配信アプリが承認されました。
- ・広報、講習の進捗状況、教育活動、まつりなどの報告がありました。

11月19日（水）よりメール開催

玉井副委員長の帰国に伴う後任、暫定委員選任につき、陳委員が承認され、11月21日付で決裁されました。



## 説明会



### <入学募集説明会>11月15日（土）

小学部と幼稚部の入学募集説明会を実施し、学校の様子をご覧いただきました。

### <高等部・国際部高学年クラス説明会> 11月29日（土）

高等部と国際部高学年クラスの説明会を実施しました。

**2026年度 4月**

### 入園・入学募集中

知人の方にお知らせください。  
入学準備のため、速やかな申請  
をお願いします。



## 補習授業校オンライン 運営委員長会議



10月15日(水)に、在外教育施設の運営責任者とのネットワーク強化を図るべく、海外子女教育振興財団により開催され、長森校長が視聴しました。

「魅力ある在外教育施設づくりに向けて」をテーマに、講演「令和の日本型教育の実現をめざして～次期学習指導要領改訂と学校進化の方向性～」の他、財団 綿引理事長から、在外教育施設振興法が期待する在外教育施設づくりのポイントについて説明がありました。

これらの考え方をもとにして、魅力ある、よりよい学校を目指します。

## 教育活動アンケートに関して

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。高評価と多くの励ましのお言葉をちょうだいしました。心より感謝申し上げます。学校をよりよくするために、皆様からの貴重なご意見を参考にし、来年度の教育活動につなげていきます。

今後も、アンケートのみならず、日頃から、気づきやご意見をお気軽に伝えていただければありがたいと思います。

### ★幼稚部 個別面談

ご希望の場合、担任にご相談ください。



### ★家庭室利用について

校舎使用願い提出の際、使用状況に応じて調整などが必要であれば、土曜日に、学校に相談してください。



## 第12回SKNスイス継承日本語教育機関 連絡会

12月7日（日）に在スイス日本国大使館広報文化センターで開催され、スイス各地にある継承語教育機関の9校から、運営委員・教員・保護者が集まり、長森校長と他校兼務教員3名が参加しました。

SKN、フックス 美千代代表、

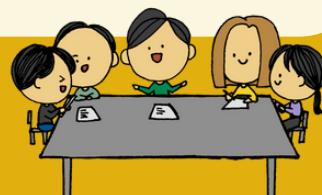
在スイス日本国大使館、

川原 剛広報文化センター長のご挨拶、

各教育機関の紹介、

東京外国語大学・ケルン大学の田島充士先生による講演があり、各グループで、情報交換、話し合いがありました。

お互いに学び合い、励まし合う親睦を兼ねた交流の会で、継承語を学ぶ子どもたちのよりよい教育について、熱意あふれる情報交換やネットワーク強化がなされました。



## 渡辺道治先生 教員研修

9月29日(月)

6月に全日校で講話会をしていただいた一般社団法人「教え方の学校」代表理事である渡辺道治先生のオンライン研修会に、補習校・全日校教員が参加し、特別支援と漢字指導について研修しました。

授業中の不適応行動は「感覚⇒認知⇒行動」の順で起こるため、背景要因を知ること、問題解決への道筋を見つけ、指導に生かすことを学びました。また、漢字を記憶に定着させるには、「継続」が重要で、パターン化した5日間の分散学習で効果的に復習をするメソッドを教わりました。

特に学習の初期段階では、「第二の脳」ともいわれる人差し指で筆順を唱えながら書く「指書き」が脳への刺激となるため、指書き・なぞり書き・写し書きという三つの刺激を組み合わせます。早速、取り入れたクラスで効果が現れているという報告がありました。漢字が学びやすくなる方法をご指導いただいた渡辺先生に、心より感謝申し上げます。



## 研修会を実施

### <全日校 研修会> 11月7日(金)

全日校高橋孝之朗教諭の中学2年国語「立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる」の授業を参観し、研修しました。生徒は、肯定側と否定側のグループに分かれ、「中学校卒業時に進路を決めるスイスの制度」について、賛成か反対かを討論しました。講話会で学んだこと、タブレットを活用して集めた情報や、身近な人から聞いた話を根拠とし、多面的な視点から、互いの立場を尊重しながら話し合い、視野を広げました。研究授業後の全日校研究討議会に、補習校教員が参加し、「主体的・対話的で深い学び」に関する効果的な指導や支援について協議しました。補習校は、さまざまな分野で全日校の支援を受けています。



### <補習校 研修会> 11月8日(土)

今年度も引き続き「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てを探る」という研究主題のもと、補習校8クラスで特別授業を行い、全日校派遣教員と補習校教員が参観をしました。放課後、全日校教員と補習校教員との合同研究討議会を行いました。グループに分かれて、参観した授業の成果や改善策を付箋に書き込みながら、「主体的・対話的で深い学び」について協議しました。授業に、研修での学びを生かしていきます。



### <ジュネーブ日本語補習学校とのオンライン合同研修会> 12月6日(土)



放課後、今年度もオンラインでつながりました。教員は、学年別で10グループに分かれ、意見交換をして楽しく学び合いました。





## コンテスト 受賞おめでとうございます

今年も多くの子どもたちが各種コンテストに参加し、素晴らしい結果が届けました。学んだことを生かして、努力して参加したからこそ得られたものです。

来年も積極的に参加して、日本語で表現し続けましょう。



### 海外子女教育振興財団主催 第46回 海外子女文芸作品コンクール

#### 「詩」の部

クラーク記念国際高等学校賞 小1 Y. T. またね、ばあば  
優秀 小6 M. T. スイスでたたく日本の太鼓

#### 「俳句」の部

佳作 小5 L. I. ゆきとけてしばふが見えたサッカーだ

### 第93回 全国書画展覧会

#### 金賞

小3	Y.	T.
小6	L.	M.
中2	E.	W.
中3	S.	M.



### 全日校有田先生による国際部中学年での特別講義 11月1日(土)

ウスター市の卓球クラブでも活躍されている全日校の有田先生に、「卓球が強くなるコツ」の特別講義をしていただきました。ポイントである「力と角度」をコントロールすることを意識

しながら練習すると、ラリーが長く続くようになりました。終盤では、一人ずつ有田先生の曲がるサーブを打ち返す特訓にも挑戦し、子どもたちの卓球スキルがレベルアップしたようです。体験をとおして日本語で体育の学習語彙を学ぶ時間となりました。



### 全日校角方先生による特別講義 11月22日(土)

全日校の角方先生に、古文の学習に合わせた「和算」の講義をしていただき、生徒は、江戸時代の数学に挑戦しました。動物の数を問う「鶴亀算」は、現代のスイスでは「鶏羊算」として出題されていることから、数学の普遍性と文化の違いの発見に、感嘆の声が上がりました。

角方先生手作りの和算書『塵劫記』（じんこうき）レプリカが一人1冊贈られ、数学、歴史、古文の学びが得られる特別な授業となりました。





## 太鼓部 活動開始



本校の児童生徒が太鼓をたたくようになり12年目となります。  
部活動として、小学3年生から高等部までの19名が11月22日から練習を開始しました。  
経験を積んでいる中学生と高校生が中心となり、指導しています。  
日本の伝統文化の継承を担う子どもたちが、学年を超えて交流しながら楽しく太鼓をたたき、保護者の支援を得て活動しています。

## 国際部高学年での特別講義・学校教育活動

### 「被爆2世のお話を聞く」 11月15日(土)

長崎県出身で被爆2世の吉富晃一さんに来校いただき、特別講義・お話を聞く会が開かれ、国際部高学年生徒の他、在校生とその保護者、教員が参加しました。

当時18歳だった母親が被爆したときの状況や、原爆手帳にまつわる話、さらには原爆投下の約2か月前に米軍の潜水艦が端島(はしま)の石炭船を攻撃した出来事など、教科書には載っていない貴重な内容を語っていただきました。

最後には、「アメリカの大統領は『原爆投下によって戦争が終結し、多くのアメリカの若者が救われた。』と言っていたが、本当に原子爆弾は必要だったのでしょうか」と、問いかけ、深い余韻を残しました。

参加者は、真剣に見聞きし、80年前の出来事に思いを馳せ、参加者の質問により、一人一人がさらに考えを深めました。  
心に響くお話をありがとうございました。

長崎県



## 「被災地の子どもたちにクリスマスカードを届けよう！」プロジェクト

クリスマスカードバンク田中拓男先生からの「東北被災地の子どもたちを支援するクリスマスカード活動」への呼びかけにより、参加して9年目となります。子どもが心を入れて書いたカードを送りました。今年は、少なかったことから、放課後、職員で作ったカードを送りました。来年、言葉と工作で楽しく思いを伝えるカード作りに参加してください。

11月13日に田中先生から、お礼のメールが届きました。

「早速クリスマスカードを送っていただき心より感謝しています。ありがとうございました。

クリスマスカード活動は、今年で15回目です。

ブラジル以外海外からのカードが少なくなり皆様のカードは本当に貴重品です。

こんなにたくさんのカード、とても可愛いカード、素晴らしいカード

喜び、感動しながら被災地で受け取る子供達のあふれる笑顔を思い浮かべています

本当に毎年の美しいカードにとっても助けられています。

今年も福島でカード展示会を予定しています。

ぜひ福島の皆様にもこの憧れのスイスからのクリスマスカード  
楽しんでいただきたいと思います。

本当にありがとうございました。感謝」

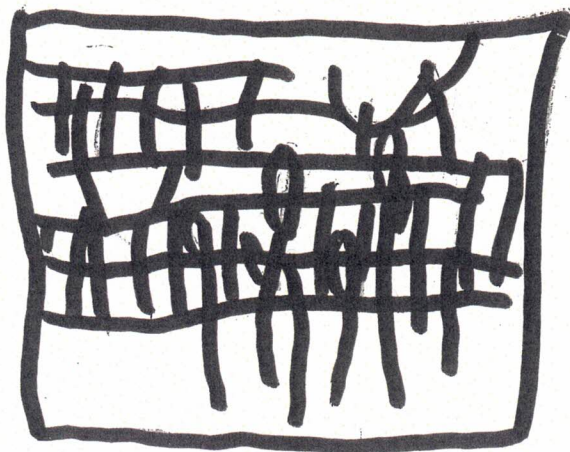
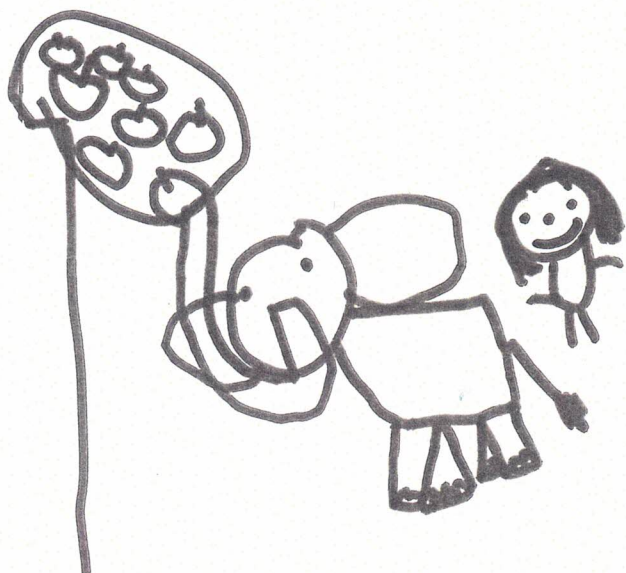
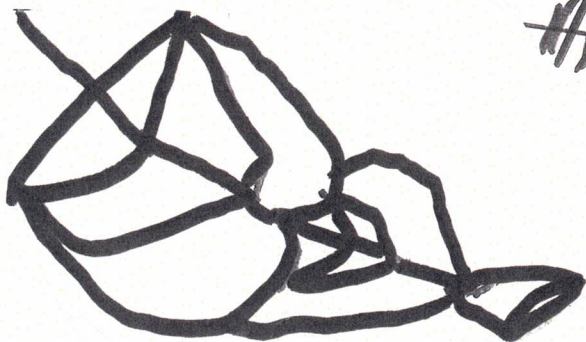
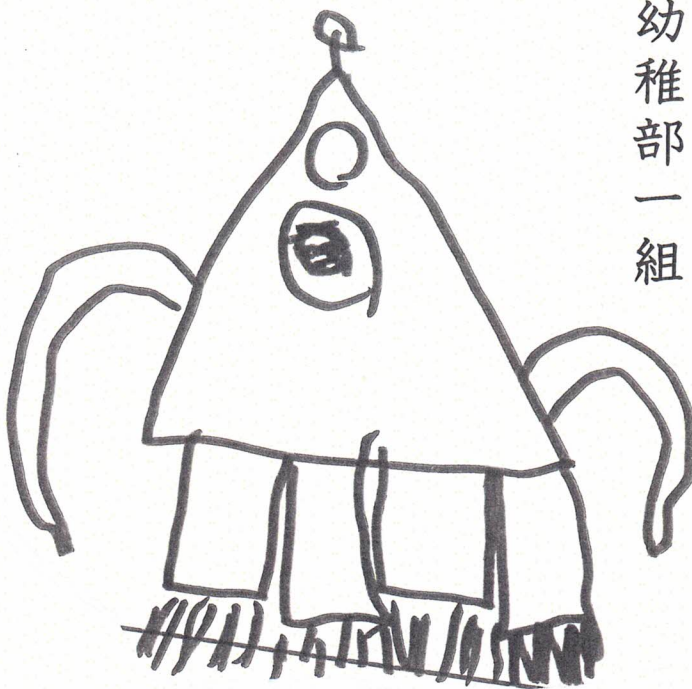
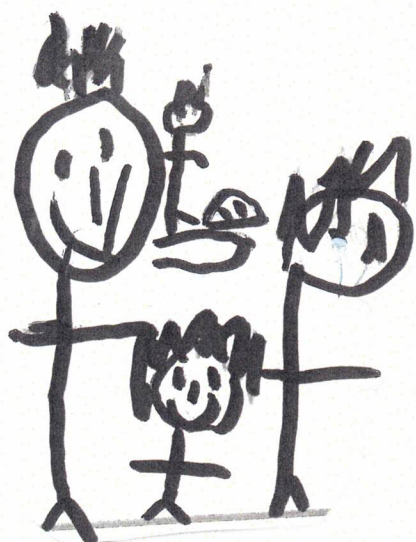


『公式 facebook』↓↓11月11日に本校のカードが届きました。  
<http://www.facebook.com/XmasCardsFromFriendsAroundTheWorld>

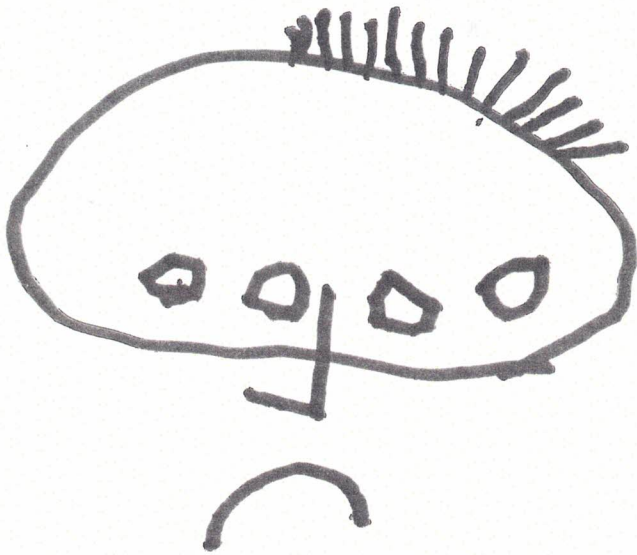
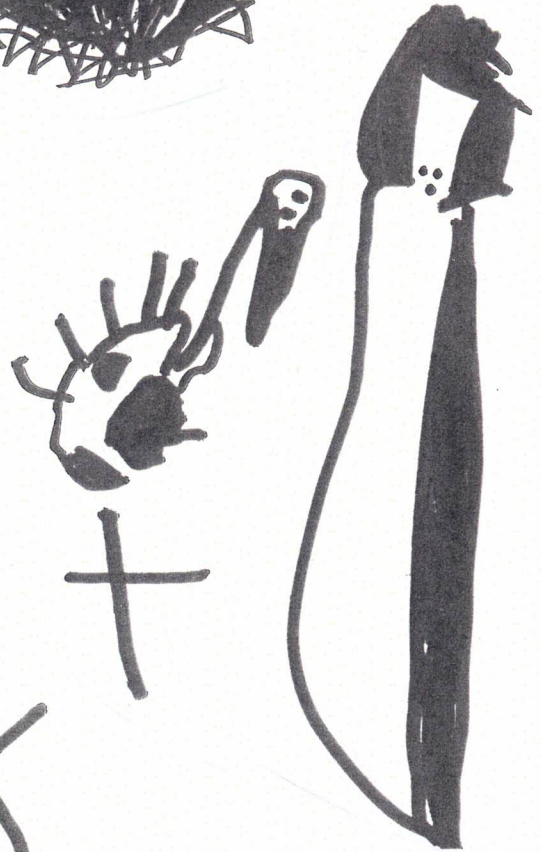
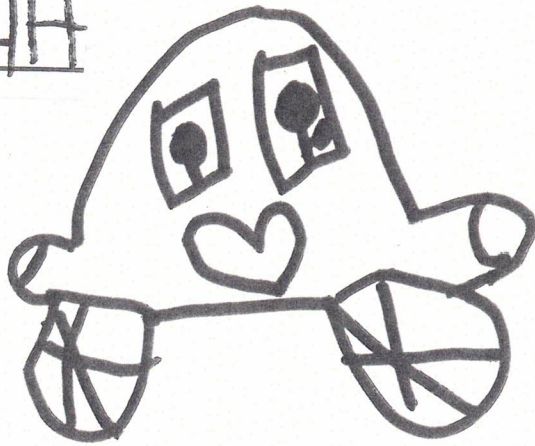
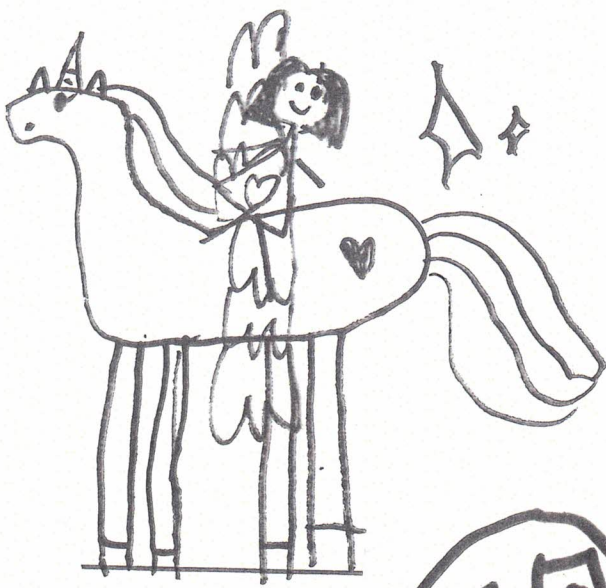


# 子どもの広場

幼稚部一組











# 小学部四年一組

## 秋休みの思い出

### 秋休みの思い出

秋休みにスペインのおばさんの家に行くのが、楽しくて大好きです。いとこと遊べ、かわいい犬とも走り回れます。

今回は、いとこと初めて自分のばんごんを作りました。ハンバーグとポテトフライ、目玉焼きです。とても上手にできて、うれしかったです。その後、えい画を見てソファーでいっしょにねました。

秋休みは、短かったけれど、楽しい思い出ができました。またおばさんの家に行きたいです。

### ぼくの秋休み

ぼくの秋休みは、こう始まりました。

一週間目は、家でゆっくりしていました。

二週間目は、土日はドイツに行くことになりました。最初は、コンスタンツに行きました。コンスタンツから、フェリーでメルスブルグまで行きました。そして、ホテルに向かいました。そこで、チェックインをしてから、レストランに向かいました。帰りに飲み物を買って帰りました。アーチェリーをしたり、森に行ったりして楽しかったです。

### 秋休みの思い出

ぼくは、家族でロンドンに行きました。

ぼくたちは、かめがニヒキとリスがいっぱいいる公園に行きました。その後、馬の交代式を見ました。とてもかっこよかったです。

次に、アムステルダムに行きました。ぼくたちは、そこで、古い風車を数多く見ました。

最後に、パリに行きました。ぼくは、モナリザの絵の写真をたくさん取りました。これがぼくの長い旅行でした。

### ルガーノ

わたしは、ルガーノでハイキングをしました。歩いた道の名前は、「くりの道」という名前でした。道の長さは、十キロメートルでした。その道では、くりを拾いながら歩けます。

道のとちゅうで、妹がつかれて歩けなくなったので、お父さんが残りの道を歩いて、車でおかえにきてくれました。ホテルに着いたら、わたしも少しねおかったです。

夕食はレストランで食べる予定でした。でも、ちゅう車場がいっぱいだったので、ピザを買って食べました。楽しかったです。



### 雲海

わたしは、昨日、家族で山にハイキングに行きました。チューリッヒから電車で二時間乗って、シュトースという村へ行きました。シュトースは、くもっていて何も見えなかったのに、リフトに乗って山の上に登ると、真っ青な空が見えてきました。山の上から見ると、空が海のように広がっていました。ゆめのようにきれいでした。母が、「この雲は、雲海と言ったよ。」と教えてくれました。山の上は、本当にきれいで楽しかったです。



### 秋休みの思い出

秋休みは、どこか遠くへは行きませんでした。冬に日本へ行くからです。休み中は、少しでも勉強をしました。

姉がフィギュアスケートの大会に出たので、母といっしょにティチーノ州のベリンツォーナへ行きました。一ばんとまって、姉をおうえんしました。でも、ゆう勝はしませんでした。

そして、火曜日にアクアパークへ遊びに行きました。水遊びが好きなので、楽しかったです。



です。あとは、まん画を読んでいました。まあまあ楽しい秋休みでした。

## ヴェネツィア

ぼくは、秋休みにヴェネツィアに行きました。チューリッヒから電車で六時間かかりました。

駅を出ると、目の前に大きな教会が見えてびっくりしました。町の中は、車も自転車も通っていないので、たくさんのお店の小さな船が荷物運んだり、ゴミを集めたりしていました。古い建物の間に、小さなお店が多くならんでいました。

いちばん楽しかったのは、ゴンドラという小さな船に乗って町の中を移動したことでした。またヴェネツィアに行きたいです。



## 日光での楽しい一日

秋休みに、家族と江戸ワンダラランド日光江戸村へ行った。わたしは、念願だったにん者のかっこうに変身して村を歩いた。にん者の館は建物の作りがふしぎで、めい路から出るのが大変だった。

しばい小屋では、にん者のげきを見た。かっこよくて自分もにん者になった気分だった。ハロウィンが近く、ようかいたちとも写

真がとれて大満足。お昼に食べた黒いにん者まんもおいしかった。

一日中いてもあきない楽しい村で、みんなにもおすすすめです。

## わたしの大好きなぼうし

父と母、わたしの三人で、イタリアの遊園地に行きました。わたしはこわいので、ジェットコースターにはあまり乗りたくありませんでした。けれど、こわくないのだと思って乗ってみました。とても速くて、兄が買ってくれた大切なぼうしが飛ばされました。とても悲しくて、なみだが止まりませんでした。

閉園後、ずっと待っていたら、おじさんが見つけて持ってきてくれて、うれしくてなみだが出ました。ジェットコースターには、二度と乗りません。

## 小学部四年二組

### まつりの思い出

楽しかったことを書きました。

今日はとても楽しかったです。なぜかというと、「まつり」のイベントがあったからです。いちばん楽しかったことは、金魚すくいとヨーヨーのコーナーを手伝ったことです。ゲームをしに来た人たちがうれしそうな顔をしているのを見ると、わくわくしました。

金魚すくいは、たくさん人が集まった中に、小さい子も交じっていたのがかわいかったです。

来年も、またしたいです。



ヨーヨーつりと金魚すくいのコーナーは、手伝うのがおもしろかったし、楽しかったです。

なぜなら、たくさん人が来てくれるように、友達と大きな声でせん伝したからです。

ゲームコーナーで言う言葉を何度も練習したことは大変でしたが、そのうちできるようになりました。

例えば、「いらっしゃいませ。こちらは金魚すくいのコーナーです。一フランけんまいで、一回できます。」

お手伝いは楽しかったので、またいつかしたいです。

わたしは、夏祭りで金魚すくいの店員さんをしました。

店員さんの仕事は、お客さんが来ると、まずあいさつをして、遊び方を教えます。

金魚すくいは大人気でした。人がたくさん来たので、とてもいそがしかったです。

わたしも、お客さんとして金魚すくいをしました。金魚がなかったので、ボールを二つすくいました。

お昼ご飯は、おいしいラーメンを食べました。



今年のまつりで、ぼくはヨーヨーつりと金魚すくいのコーナーを手伝いました。いちばん心にのこったことは、お客さんとの会話を練習したことです。

ぼくは、その言葉を今でも覚えています。まず、お客さんが来たら、ぼくたちが、「いらっしゃいませ。」

と、言います。

ぼくは、ごみを集める係でした。たくさん子どもたちが遊びにきました。

子どもたちが、ヨーヨーや金魚をすくってよろこんでいる様子を見ているのが楽しかったです。クラスの友達とのいい思い出ができました。

「いらっしゃいませ。金魚すくいはいかがですか。」

まつりの一週間前に、じゅ業でけい語の練習をしていたので、お客さんに軽やかに声をかけることができました。

「上手ですね。二ひきどうぞ。」

じゅ業が終わって一フランけんを持ってゲームコーナーに走った。

しばらく輪投げに熱中した後、大すきな日本のおかしをたくさん持って金魚すくいに行き目をうたがった。

なぜかという、金魚が一びきしかのこっていないからだ。

ぼくは、さい後の一びきをとって、ほこらしい気持ちだった。

ぼくは、ゲームコーナーの手伝いが「楽しいな。」と思いました。

さい初はどきどきしたけれど、だんだんわくわくしてきました。

ヨーヨーつりは、お客さんがあまり集まらなかった、来てくれたときはうれしかったです。

金魚すくいは、お客さんが一分間に五人も来ました。

ヨーヨーつりも金魚すくいも、手伝うのはおもしろかったです。

それから、メロンソーダがとてもおいしかったです。



ヨーヨーつりと金魚すくいの手伝いを初めてしたので、めっちゃどきどきしました。

まつりの日の前に練習したことは、十分間で、ゆかたを着られるようにすることです。

ヨーヨーつりのコーナーで、わたしがお客さんのヨーヨーを持ったとたん、大きな音が生きて発したので、みんなびっくりしてしまいました。

その後、ゆかたが少しぬれてしまいました。

今日は、ゲームコーナーをお手伝いできたことが、いちばんよかったです。

ぼくは、金魚すくいとヨーヨーつりで、みんなが、えがおだったのを見て、平和だなと感じました。

クラスの友達だけれど、同じたいどで皆さんにやさしくせっていました。

ぼくは、その光景から祭り全体を見わけて、あちこちで、えがおがあふれていることに気づきました。

口げんがなども一切なくて、みんなが楽しんでることが何よりうれしかったです。

来年も、とても楽しい夏祭りを期待しています。

## 中学部二年

### 意見文

「生成AIを使って宿題をすること」

生成AIを使って宿題をすることについて、僕は賛成だ。理由は、二つある。

第一に、使い方をコントロールすれば、とても効率的に作文を書くことができる。

僕自身、日本語であまり上手に書けないから、作文を書くときにとどき使用する。ドイツ語で書いたものを、日本語に翻訳するためだ。

第二に、生成Aは宿題だけでなく、テスト勉強にもとても役立つ。

具体的には、テストに向けて準備するとき、僕の疑問や問いかけにすぐに対応し、ある程度正確な答えを出してくれる。実際に、「ChatGPT-40をはじめとする五種類の生成Aが米国の医師国家試験『Step III』に挑戦しました。その結果、ChatGPT-40は驚異的な正答率九十八パーセントを記録し、」と書かれている。（「MEDICAL AI GOAL」）

これに対して、「生成Aを使ってばかりだと、じっくり自分で考えることがなくなるかもしれない」という考えもあるだろう。

しかし、生成Aは膨大な量の情報と知識をもっているのです、とても便利だ。

以上のことから、僕は生成Aを使って宿題をすることは、許されるべきだと考える。

参考資料

・株式会社MLP「MEDICAL AI GOAL」

<https://medical-ai-go/>

[goal.jp/blog/chatgpt40-kokushi-98percent/](http://goal.jp/blog/chatgpt40-kokushi-98percent/)

二〇二五年十一月八日閲覧



生成Aを使って宿題をすることについて、僕は反対だ。理由は、二つある。

第一に、僕はAに宿題を全て任せるのは、自分のためにならないと思う。宿題は自分の力で考え、学んだことを定着させるためにあると、僕は考えるからだ。

第二に、生成Aの答えが全て合っているとは限らず、誤った知識を身に付けてしまう危険がある。Aに宿題をさせて答えが間違っていた場合、先生によるが、その宿題をし直さないといけないことになる。日経新聞によると、「ChatGPTは、さも本当のことを言っているかのように間違える」という。（「教育とICTOnline」）

これに対して、「人間も間違えることがあるから、より正確なAを使ってもいいだろう」という考えもあるだろう。

しかし、最良の選択はAを使いつつ、ネットで信ぴょう性がいちばん高い情報に頼ることだと思う。

以上のことから、僕は生成Aを使って宿題をすることは、最適ではないと考える。

参考資料

・日経BP「教育とICTOnline」

<https://project.nikkeibp.co.jp/pc/atc/19/>

[06/21/00003/081600474/](https://project.nikkeibp.co.jp/pc/atc/19/06/21/00003/081600474/)

二〇二五年十一月八日閲覧

生成Aを使って宿題をすることについて、僕は反対だ。理由は、二つある。

第一に、自分で宿題に取り組めなくなる。具体的には、生成Aを使っていると、自分で考えなくなるので、宿題ができなくなる。そして、テストでもいい点数を取ることができなくなる。実際に、生成Aを使用することで「思考力が落ちる」と感じる人の声が多く投稿にある。（「note」）

第二に、ソーシャルスキルがなくなる。

例えば、いつも生成Aの意見を真似していると、自分の意見をもつことができなくなる。コミュニケーションが上手にできなくなると、友達もいなくなる。

これに対して、「自分でコントロールができるのであれば、生成Aを使ってもいい」という考えもあるだろう。

しかし、生成Aに依存してしまうリスクがあつて、たくさんの方がコントロールできていない。

以上のことから、僕は宿題をするときに、生成Aを使わないほうが良いと考える。

参考資料

・「note」<https://note.com>

二〇二五年十一月八日閲覧



生成Aを使って宿題をすることについて、私は賛成でもあり、反対でもある。

賛成の理由は、生成Aはとてもわかりやすく問題の答えを教えてくれ、すぐに答えをくれるからだ。

例えば、いつも宿題をするときに助けてくれる親の時間がなかったら、代わりに生成AIから助けを簡単にもらえて、とても役立つ。

反対の理由は、生成AIを使い過ぎると、どんどん怠け者になり、全部の答えをきいてしまうようになるからだ。そうすると、オリジナルティがなくなり、他者のアイデアになっってしまう。

例えば、文集「とんがりぼうし」には、自分の気持ちやどう思ったかについて書くので、AIを使っではいけないと思う。

これに対して、「生成AIを使って全ての宿題をすることに賛成だ」という考えもあるだろう。

しかし、生成AIを使ってもいいが、使い過ぎないようにすることが大切だと思う。

以上のことから、私は生成AIを使って宿題をすることは、部分的にはよいと考える。



生成AIを宿題に使うことに、私は賛成でもあります。

賛成の理由は、生成AIにきくと、どんな問題でも、とてもわかりやすく説明してくれるからだ。

具体的には、インターネットのあらゆる情報を簡潔にまとめてくれ、プレゼンテーション作成などにとっても役立つ。正答率も高く、「ChatGPT」に二〇二五年度大学入学共通テストを解かせたところ、正答率が九割を超えた

ことが、AI導入コンサルティングなどを手掛ける「LifePrompt」の取り組みで明らかになった。」（「ReseMom」）

反対の理由は、生成AIに頼りすぎると、自分で考える力が弱くなるからだ。生成AIは、間違えることもある。生成AIが出した答えが間違っていないか、チェックの時間と労力が取られる。

これに対して、「生成AIを使わず、自分の力で全て取り組むべき」という考えもあるだろう。しかし、生成AIを上手に利用することはできるし、これほど便利なものを使わないのは、もったいないと思う。

以上のことから、生成AIを宿題に使うときは、使い方を工夫すればよいと考える。

参考資料

・株式会社イード「ReseMom」

<https://resemom.jp/article/2025/01/22/80408.html>

二〇二五年十一月八日閲覧

僕は、生成AIが大嫌いだ。生成AIを使う人間は、とてもだらしがない人だと思う。

そのため、生成AIを使って宿題をするのについては、僕は反対だ。理由は、二つある。

第一に、生成AIを使えば使うほど、思考力が弱くなり、頭が悪くなる。生成AIに質問すると答えが得られるので、自分の頭を使わなくなる。

第二に、フェイク情報が生成されることがある。実際に、生成AIは「信頼できる著作

物だけでなく、誤った情報源も同列に学習し、もっともらしい誤情報を作り出してしまっています。」と知らされている。（「コンタクトセンターの森」）

例えば、学校で生成AIの授業を受けたとき、AIに質問した内容と全然違う情報が提示されたことがあった。

これに対して、「生成AIを使用すると、時間を有効に使えて、別のことをする時間ができる」という考えもあるだろう。

しかし、僕は生成AIは、ひどい発明だと思う。皆には、宿題を自分でしてほしい。

以上のことから、僕は生成AIを使って宿題をすることは、絶対にだめだと考える。

参考資料

・リードプラス株式会社「コンタクトセンターの森」

<https://www.cloud-contactcenter.jp/blog/what-are-the-disadvantages-of-generative-ai.html>

二〇二五年十一月八日閲覧



僕は、生成AIを使って宿題をすることに、賛成だ。理由は、二つある。

第一に、生成AIを使えば、親や先生に迷惑をかけずに、調べることができる。わからない言葉や計算があるとき、生成AIに質問すれば、すぐにわかりやすく教えてくれる。



そのため、わざわざ誰かにきかずに自分の力で学べ、自立して勉強できる。ニフティ株式会社が運営する子ども向けサイト「ニフティキッズ」の調査によると、「小中学生の約四割が勉強や宿題にＡＩを活用」しているそうだ。（「PRTIMES」）

第二に、携帯電話さえあれば、いつでも、どこでも生成ＡＩを使える。

具体的には、電車の中や外出先でも、思いついたときすぐに、宿題の調べ物をする事ができる。

これに対して、「生成ＡＩを使うことは、自分のためにはならない」という考えもあるだろう。

しかし、生成ＡＩを宿題の全てではなく、補助的に使用すれば、時間の節約にもなり、勉強の効率も上がる。

以上のことから、僕は生成ＡＩを使って宿題をすることは、問題ないと考える。

#### 参考資料

・ニフティ株式会社「PRTIMES」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000382.000023383.html>

二〇二五年十一月八日閲覧



生成ＡＩを使って宿題をすることについて、私は反対だ。理由は、二つある。

第一に、人とのコミュニケーションがうまく取れなくなる。長時間ＡＩを使うと、自分で考える力がなくなってしまう。とうとう人と話すことも面倒くさいと思って、話せなくなる。

第二に、ときどき生成ＡＩは正しくない答えを教える。正確で完璧な答えをくれるときもあるが、間違っているときもあるので、ＡＩをいつも信じないほうがよい。実際に、「ChatGPT」の回答の精度についての調査があります。アメリカのパデュー大学の研究者は、「GPT-4」がプログラミング関連の回答をした際の精度に関する調査を行いました。（中略）すると、五一七件中、誤りがあった回答が二六九件と、五十二パーセントにも上りました。」と書かれている。

（「hitobo」）

これに対して、「生成ＡＩに答えをきいたほうが早く宿題を終わらせる」という考えもあるだろう。

しかし、私は生成ＡＩに宿題の答えを教えてもらうより、その宿題の答えをどのように出すかについてだけ教えてもらうべきだと考える。

以上のことから、私は宿題に生成ＡＩを使うことに反対だ。

#### 参考資料

・アディッシュ株式会社「hitobo」

<https://hitobo.io/blog/chatgpt-errors-causes-and-solutions/>

二〇二五年十一月八日閲覧

